

平成 27 年度 平塚湘風高等学校 不祥事ゼロプログラム実施結果

1 実施責任者

県立平塚湘風高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長、教頭がこれを補佐する。

また、総括教諭は、校長、副校長、教頭を補佐し、企画会議を通じてこれを推進する。

2 目標及び行動計画

(1) 平塚湘風高等学校全体としての目標及び行動計画

平塚湘風高等学校では、不祥事の未然防止を図るため、次に掲げる 8 項目を基本とし、県民の要請と期待に応えるため、職員全員が参加して継続的に実施、検証を行う。

校長は、職員個々の意識向上と不祥事防止のため、全職員と個別面談を行う。

(2) 平成 27 年度における基本 8 項目

平塚湘風高等学校では、次に掲げる 8 項目を平成 27 年度における基本項目とする。

- ① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）
- ② わいせつ・セクハラ行為の防止
- ③ 体罰、不適切な指導の防止
- ④ 会計事務等の適正執行
- ⑤ 個人情報等の管理、情報セキュリティー対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）
- ⑥ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守
- ⑦ 業務執行体制の適正化（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）
- ⑧ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

(3) 各基本項目の目標及び基本計画

- ① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）

担当：研究開発グループ

ア 目標

教育公務員として公務に携わることを自覚し、法令を遵守し、公務・公務外を問わず県民から信頼される行動をとる。

イ 実施結果

- i 4月24日、「修学旅行等における生徒引率中の飲酒」をテーマに事故防止会議を実施し、公務員としての自覚とモラルの向上、法令遵守、不祥事の発生原因となる行為及び

県民の誤解や不信を招く恐れのある行為についての認識を深めた。

- ii 副校長・教頭を中心に職員室内を中心とした風通しの良い職場作りを推進し、職員のコミュニケーションを図った。

② わいせつ・セクハラ行為の防止

担当：キャリア支援グループ

ア 目標

セクハラ・わいせつ行為等の発生を未然に防止する。

イ 実施結果

- i 今年度、全職員を対象としたセクハラ研修会はできなかったが、職員会議や朝の打ち合わせにおいて、管理職から継続的に注意喚起を行った。
- ii 生徒に対するセクハラ・わいせつ行為等の発生防止を図るため、校長が全職員と面接を行った。
- iii 5月15日及び9月24日に「わいせつ・セクハラ行為の防止」をテーマに、事故防止会議を実施し、教職員の注意喚起を図った。
- iv 職員相互の良好なコミュニケーションにより、ハラスメント防止に繋がった。

③ 体罰、不適切な指導の防止

担当：活動支援グループ

ア 目標

生徒の人権に配慮した指導に努めるとともに、生徒に対する体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。

イ 実施結果

- i 全期間を通して、新聞記事や職員啓発資料等を活用し、職員の意識啓発を図った。
- ii 5月15日および8月28日に「体罰、不適切な指導の防止」をテーマに事故防止会議を実施し、さまざまな局面で体罰や不適切な指導が発生しないように共通認識を高めた。

④ 会計事務等の適正執行

担当：管理運営グループ

ア 目標

公費・私費会計の徴収・執行及び職場内の現金管理等に関する不祥事を、未然に防止する。

イ 実施結果

- i 4月17日、事故防止会議において事務長より「私費会計の適切な執行」の説明を行い、会計事故の未然防止を呼びかけた。
- ii 7月に備品の現物照合を集中的に実施した。
- iii 私費会計を対象に10月に中間会計監査を実施した。

⑤ 個人情報等の管理、情報セキュリティー対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）

担当：学習支援グループ

ア 目標

個人情報の流出・漏洩を未然に防止し、個人情報の適正な管理・取扱いを厳守する。

イ 実施結果

- i 朝の打ち合わせにおいて、事例等を紹介し、個人情報保護についての教職員の理解を深めた。
- ii 学習支援グループ担当者及び管理職による情報媒体（U S Bメモリなど）の管理の徹底を図るとともに、携帯電話やメール等における個人情報保護・管理を徹底した。
- iii 紙媒体（テスト用紙など）の持ち出しは最小限に止めるとともに、届出を徹底し、個人情報について意識を高めた。
- iv 8月25日に「個人情報等の管理、情報セキュリティー対策」をテーマに事故防止会議を実施し、個人情報等の管理、情報セキュリティー対策について徹底した。

⑥ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

担当：生徒支援グループ

ア 目標

交通事故の発生を未然に防止するとともに、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。

イ 実施結果

- i 年間を通して、安全な交通手段の利用を徹底するように啓発した。また、12月22日に「交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止」をテーマに事故防止会議を実施し、交通事故防止を徹底した。
- ii 年間を通して、酒酔い・酒気帯び運転防止を呼びかけた。飲酒をともなう会合には自家用車で参加しないことを徹底した。

⑦ 業務執行体制の適正化（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）

担当：学習支援グループ

ア 目標

教育公務員として適正に業務を執行し、県民の要請・期待に応える。

イ 実施結果

- i 外部への配付文書、調査書や指導要録、定期試験等の校内点検業務の体制を確立し、複数による点検・確認の徹底を図った。
- ii 年間を通して、丁寧な窓口対応、電話対応等を実践するとともに、保護者への適切な対応を徹底した。
- iii 1月14日に「入学者選抜における事故防止」をテーマに事故防止会議を実施し、入学者選抜を事故なく運営することを全職員に啓発した。

⑧ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

担当：学習支援グループ、キャリア支援グループ

ア 目標

教育公務員として適正に業務を執行し、ミスのない書類の作成・発行を行う。

イ 実施結果

- i 朝の打ち合わせにおいて、事例の紹介やミスを起こしやすい点の注意喚起を行い、事故防止に努めた。
- ii 6月12日「定期テストにおける事故防止」、10月15日「個人情報の取扱いについて」をテーマに事故防止会議を実施し、最重要課題として注意喚起を行った。